

施工説明書

オートマージュC自動水栓 アクエナジータイプ

AM-130TC型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 警告** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ ... 「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 🚫 ... 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- 🔪 ... 「分解してはいけません！」
- 📢 ... 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)
- 🚫 ... 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

警告

	修理技術者以外の方は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。	
	バスルームなどの水がかかる所や、表面に水滴を生じるとような湿気が多い場所では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。	
	水につけたり、水をかけないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。	
	専用リチウム電池を水の中に入れてください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	専用リチウム電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	専用リチウム電池を強制放電しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	専用リチウム電池を充電しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	専用リチウム電池を分解・加工・改造しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
	【サーモスタート付の場合】 給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

注意

	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因となります。	
	トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレンジング剤を使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	

注意

	電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。	
	電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しの良い、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。	

本製品の仕様と条件

電源	主電源	サーモスタート付 最大DC5.5V〔電源回路〕
	バックアップ	最大DC3V〔リチウム電池〕
消費電力		待機時0.1W以下 使用時3W以下
使用圧力範囲		0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) 水圧≧湯圧
使用可能水質		水道水および飲料可能な井戸水 ※1
使用環境温度範囲		0~40℃
使用環境湿度範囲		90%RH以下
適正流量範囲		2~3L/分 (2.5L/分定流量弁内蔵)
感知方法		光量式可視光センサー
感知距離	(可視光用グレーカード:100角)	約105mm
感知エリア幅		φ60mm以下 (センサー窓より60mmの位置)
給水接続		PJ1/2
取付条件		水栓取付穴径φ25mm~38mm カウンター厚10~30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

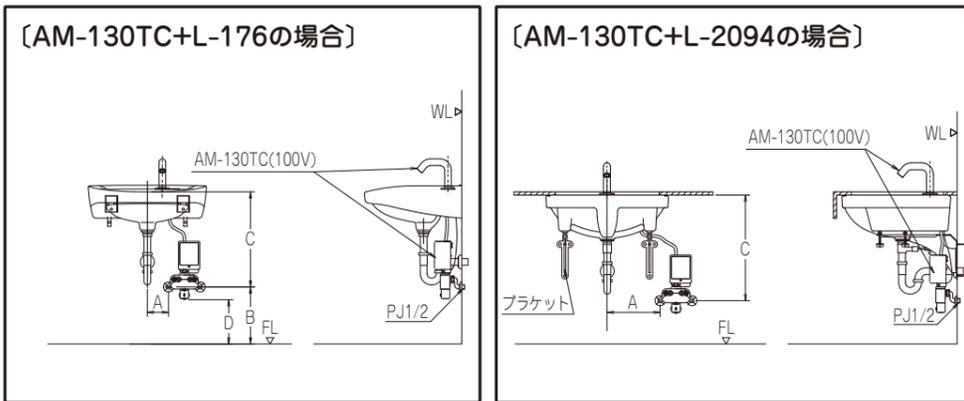
- 給水圧力が0.60MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa)に減圧してください。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃以上高く設定してください。
- 水道直圧式(瞬間式)のガス給湯器・石油給湯器は使用できません。(湯側流量が着火流量に満たないため)貯湯式の給湯器と組み合わせて使用してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。

施工寸法

陶器によって取付寸法が異なります。
下表を参照のうえ、取り付けてください。

陶器の種類	ブラケット	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
手洗器	なし	100	350	450	70以上 確保
洗面器	なし	100	300	450	
	あり	250	—	500	

施工例



施工前のご注意

取付けに必要な工具

- 取付けにはプラスドライバー、専用工具「KG-4(対辺34)」が必要です。

取付可能陶器

- 水栓を取り付ける陶器が取付可能陶器であることを確認してください。(取付可能陶器一覧表)
※取付可能陶器一覧表に記載されていない陶器への取付けは、誤作動することがありますので取付けできません。

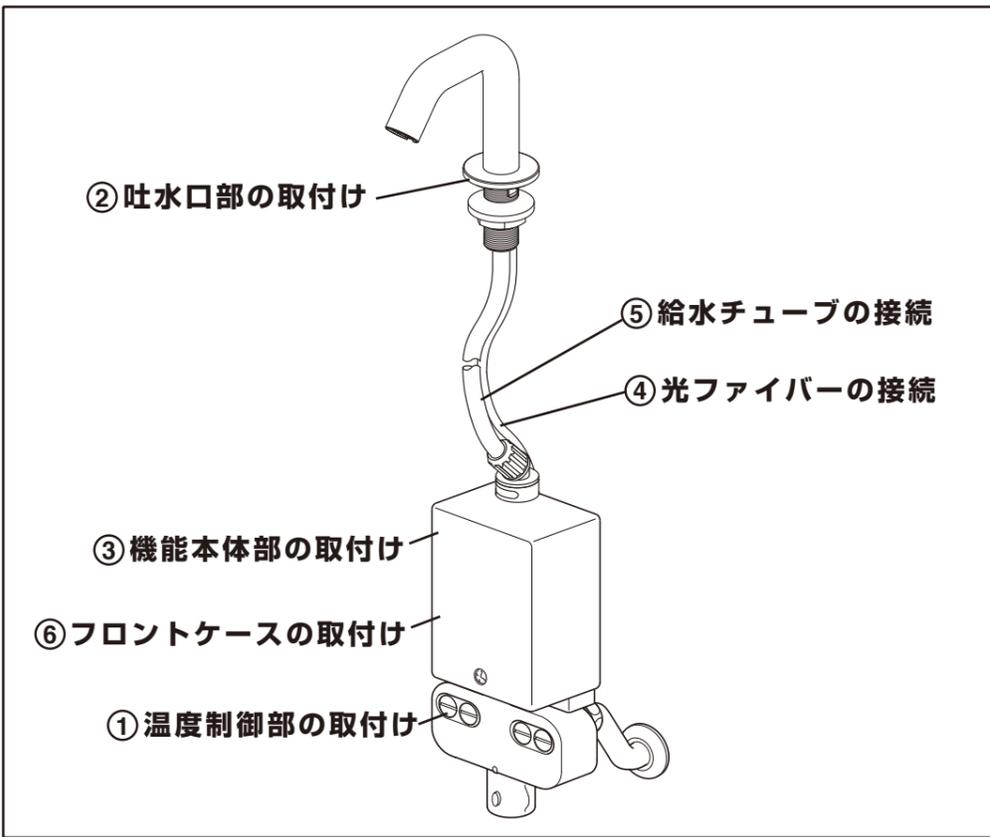
〔取付可能陶器一覧表〕

自動水栓製品品番	陶器		
	分類	品番	
AM-130TC	手洗器	L-14	AN,N
		L-15	AG,G
		L-80	AG,G
		L-103	AG
		L-132	AG,G
	洗面器	L-143	AG,G
		L-176	AG,G,AN,N,AP,P
		L-275	AN,N
		L-275-H	AN,N
		L-365	APR,APRS,FCPR,FCPRS
		L-531	ANC,N
		L-536	ANC,N
		L-543	ANC
		L-546	ANC,N
		L-555	ANC,N
		L-2094	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2149	AG,G,ANC,AN,N,AP,P,APR,APRS,FCPR,FCPRS
		L-2150	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2160	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2394	ANC
		L-2584	ANC
		L-2594	AG,G,ANC,AN,N,AP,P

その他の注意点

- 給水は必ず水道水および飲料可能な井戸水としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
- 水栓を取り付ける前に必ず**配管中の異物を完全に洗い流し**、空気を完全に抜いてください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- 機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
- 電気製品ですので機能本体部に水をかけないようにご注意ください。
- センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
- 水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓を絞って、流量3~5L/分程度にしてください。(「流量の調節」の項参照)
- インバーター照明により誤作動する場合があります。
- 直射日光が当たらないところに設置してください。

施工手順



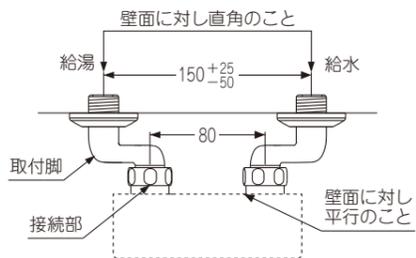
2. 施工方法

1 温度制御部の取付け

1. 配管取出位置を確認し、取付脚を取り付ける。

注意

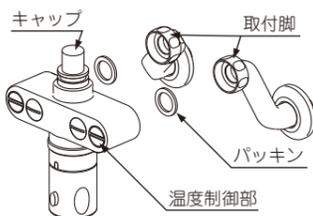
キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。



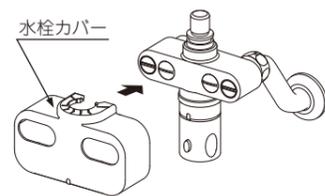
2. 取付脚に温度制御部を取り付ける。

注意

●パッキンを必ず取り付けてください。
※漏水の原因になります。
●キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。



3. 水栓カバーを取り付ける。

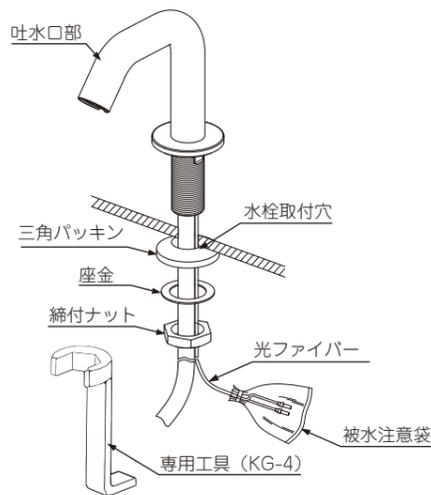


2 吐水口部の取付け

1. 吐水口部を水栓取付穴に挿入し、三角パッキン、座金、締付ナットを吐水口部に取り付け、専用工具「KG-4」を用いて仮固定する。

注意

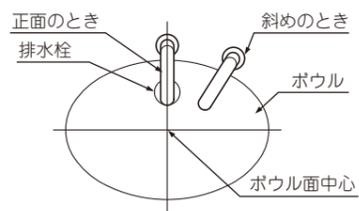
●光ファイバーの被水注意袋は、機能本体部に接続するまで取り外さないでください。
●締付ナットを取り付ける際は光ファイバーを傷つけないように注意してください。
※光ファイバーに傷が付くと感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。



2. 吐水口先端をボウルの中心に向くよう調節し、吐水口部をしっかりと固定する。

注意

●取付方向を適切な位置にしてください。
●取付可能陶器以外は取り付けないでください。
※ボウル面を感知して誤作動する恐れがあります。

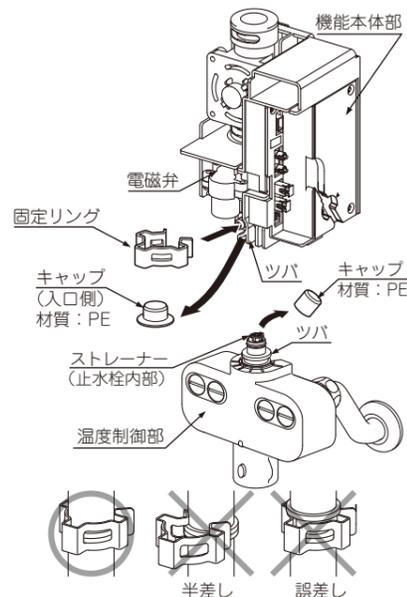


3 機能本体部の取付け

1. 止水栓のキャップと機能本体部の入口側のキャップを取り外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込む。

注意

●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。
●誤ってストレーナーを外さないでください。
※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。



2. 付属の固定リングを接続部(ツバ部)にはめ込む。

注意

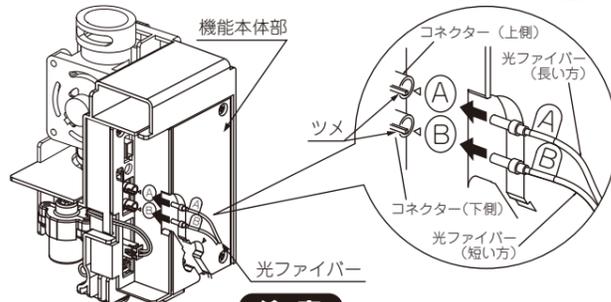
確実ににはめ込んでください。
※しっかりにはめ込んでいないと漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。

確認

かるく機能本体部を上げて、固定リングが外れないこと。

4 光ファイバーの接続

1. 光ファイバー先端の被水袋を取り外し、光ファイバー先端のA側(長い方)を機能本体部のコネクターA側(上側)に、光ファイバー先端のB側(短い方)を機能本体部のコネクターB側(下側)にそれぞれ差し込む。



注意

●差し込む位置を間違えないように気をつけてください。
※逆に差し込むと感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。
●光ファイバー先端の被水袋を取り外す時、カッターは使用しないでください。
●光ファイバーの先端の傷付き、ホコリ、水、油脂などの付着がないように注意してください。
●コネクターのツメを折ったり、コネクターと光ファイバーを工具でかきめないでください。
※感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

確認

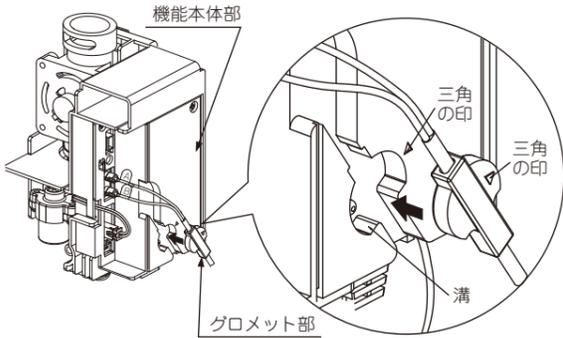
光ファイバーがねじれていないこと。

2. 光ファイバーのグロメット部の三角の印と機能本体部側面の三角の印が向かい合うようにして溝にはめ込む。

注意

光ファイバーがねじれないように、しっかりはめ込んでください。

※しっかりはめ込まれていないと、フロントケース挿入時に光ファイバーに傷付き、感知ができなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

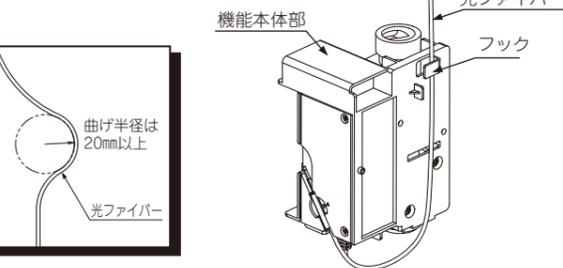


3. 光ファイバーを機能本体部のフックに収める。

注意

光ファイバーの曲げ半径は20mm以上としてください。

※曲げすぎると感知ができなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。



5. 専用リチウム電池の接続

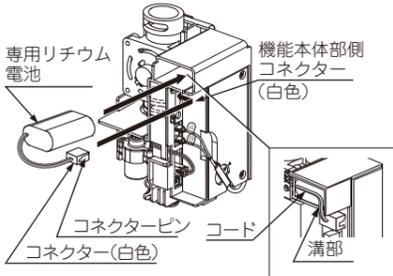
1. 同梱の専用リチウム電池を機能本体部にセットする。

2. 専用リチウム電池のコネクター（白色）のピンを右側にして機能本体部側のコネクター（白色）に差し込む。

注意

●コードを溝部にはめ込んでください。
※コードが溝部に入っていないと、フロントケースの取付時にコードをかみ込み断絶する恐れがあります。

●専用リチウム電池は必ず接続してください。
※接続しないと夜間等の長時間使用しない場合に、吐水しくなくなります。



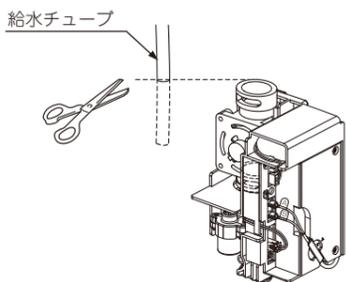
6. 給水チューブの接続

1. 給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断する。

注意

●給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。
※漏水の原因になります。

●必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。
※給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。



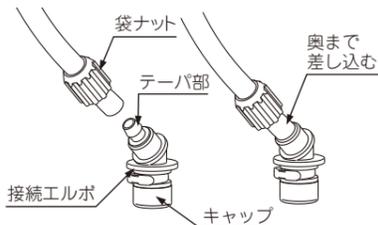
ポイント

給水チューブは水平に切断する。

2. 給水チューブに袋ナットを通した後、接続エルボのテーパ部に差し込む。

注意

給水チューブを接続エルボから取り外す場合、カッターは使用しないでください。
※テーパ部を傷つけ、漏水の原因になります。



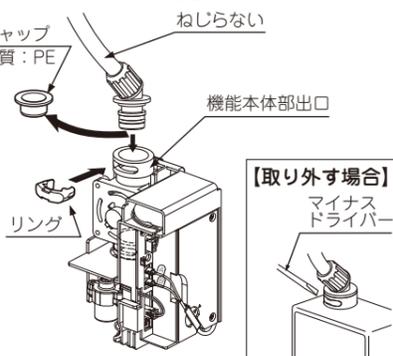
3. 袋ナットを接続エルボに手締めで締め付ける。



4. 機能本体部の出口側のキャップ、接続エルボのキャップ、リングを取り外し、機能本体部の出口に接続エルボを差し込み、リングで固定する。

注意

Oリングに傷をつけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。



7. フロントケースの取付け

フロントケースをはめ込みプラスドライバーで付属の取付ネジを固定する。

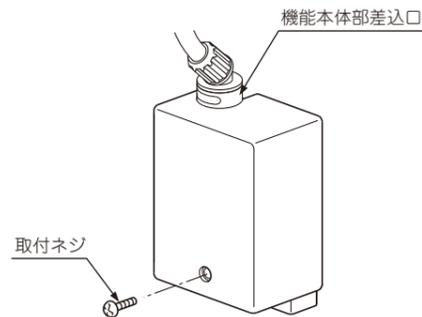
注意

●光ファイバーをフロントケースで挟み込まないでください。

※感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

●必ずフロントケースを取り付けてください。

※フロントケースを取り付けていないとホコリが光ファイバーの接続部に浸入し、感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。



3. 施工後の調節

1. 通水確認

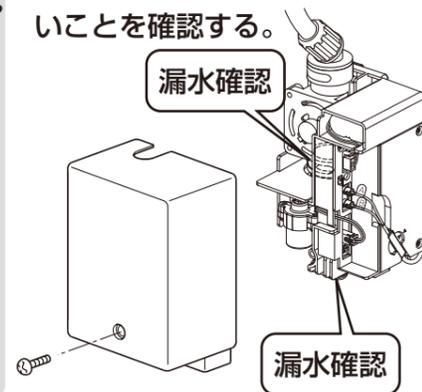
通水確認を以下の要領で行ってください。

1. 元栓を開く。

2. 手を差し出し、センサーを感知させ、水がでることを確認する。



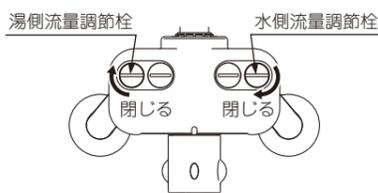
3. 水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



2. ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

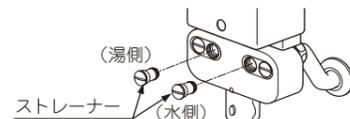
1. 湯側・水側の流量調節栓を閉じる。



2. 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをする。



3. 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流す。



4. ストレーナーを取り付ける。

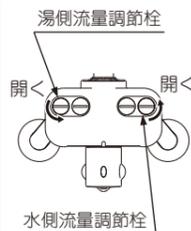


3. 流量の調節

1. 流量調節栓を全開にする。

ポイント

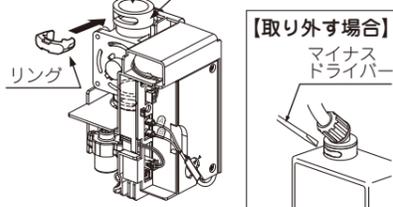
●節水のため定流量弁を装着しているため、一定以上の流量（3L/分以上）は出ない。
●流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20～30秒。



流量が十分な場合
▶▶▶ 「[5]吐水温度の確認」に進む

流量が少ない場合

▶▶▶ 「[4]流量が不足する場合の調節」へ進む



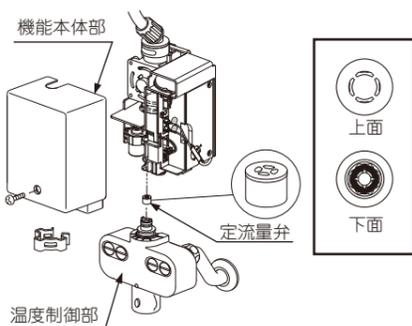
流量が不足する場合の調節

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は定流量弁を取り外して、流量を調節する必要があります。

1. 流量調節栓を閉めた後、定流量弁を取り外す。

注意

- 定流量弁を取り外した後、必ずストレーナは温度制御部に取り付けてください。
※ストレーナを取り外してしまうとゴミ等が機能本体部内につきり故障の原因になります。
- 定流量弁を取り外した後、再度取り付ける場合は黒いOリングが見える面を下に向けストレーナに取り付けてください。
※上下を誤って取り付けると、流量が多くなったり、Oリングが外れ、弁に詰まることで止水不良になる恐れがあります。



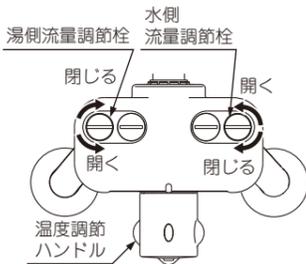
2. 温度調節ハンドルを水側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながらマイナスドライバーで水側の流量調節栓を調節する。その後、湯側ハンドルを湯側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながら湯側の流量調節栓を調節する。

注意

- 減圧弁付の電気温水器と組み合わせる場合は、必ず定流量弁を取り外して流量調節をしてください。
※定流量弁をつけたままだと流量が不足します。

ポイント

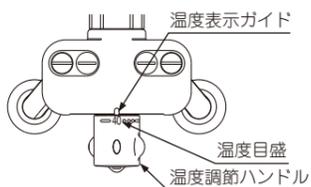
●流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20～30秒。



吐水温度の確認

温度調節ハンドルの温度目盛は、工場で調整していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確認します。

1. 温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示ガイドに合わせ、吐水口から吐水させる。

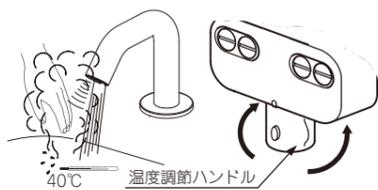


2. 吐水温度が表示通りの場合
▶▶▶ そのままご使用可能。
- 吐水温度がズれている場合
▶▶▶ 「[6]温度調節ハンドルの調整」に進む。

温度調節ハンドルの調整

温度調節ハンドルの温度目盛と、吐水温度が合わない場合は、温度調節ハンドルの調整を行ってください。

1. 吐水温度が温度目盛には関係なく40℃になるように、温度調節ハンドルを回す。

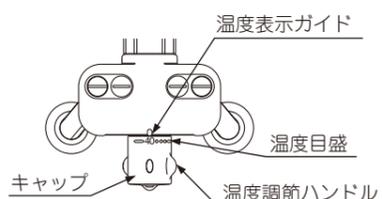


2. 吐水温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取る。

ポイント

- キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけで外れる。

3. 抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示ガイドに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップをはめ込む。



4. 引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。
※点検箇所は、下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
吐水しない	流量調節栓は開いていますか？	①	流量調節栓を開く。
	断水中ではありませんか？	-	回復するまでお待ちください。
	ストレーナや泡沫口にゴミ等がつまっていますか？	③④	ゴミ等を除去する。
	センサー表面が汚れていませんか？	⑤	汚れをふき取る。
	光ファイバーがコネクターにしっかりと差し込まれていますか？	②	光ファイバーをコネクターに差し込む。
流量が少ない	専用リチウム電池が正しくセットされていますか？（リチウム電池の接続後、水栓が使用可能になるまで約30秒かかります。）	⑧	専用リチウム電池を正しくセットする。
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。		
流量が多い	流量調節栓を全開にしていますか？	①（湯側と水側）	流量調節栓を全開にする。
	ストレーナや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	③④	ゴミ等を除去する。
	水圧が低くないですか？ ※(0.06MPa以下の場合)はご使用できません。	①⑥	定流量弁を取り外して流量調節栓にて流量の調節を行ってください。
	減圧弁付の電気温水器と組み合わせていませんか？ 給水チューブが折れ曲がっていませんか？	⑦	折れ曲がらないよう長さを調節する。
高温しか出ない	定流量弁が取り外されていますか？	⑥	定流量弁を正しくセットしてください。
低温しか出ない	低圧の現場や電気温水器との組み合わせの場合、定流量弁取り外し後、流量を調節しましたか？	①	流量を調節する。
温度調節がきかない	水側の流量調節栓は十分開いていますか？	①（水側）	流量調節栓を全開にする。
	給湯温度は希望吐水温度より10℃以上高くなっていますか？ 湯側の流量調節栓は十分開いていますか？	①（湯側）	流量調節栓を全開にする。
止水しない (勝手に水が出る)	流量調節栓は湯、水側ともに、十分開いていますか？	①（湯側と水側）	全開にする。
	ストレーナや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	③④	ゴミ等を除去する。
	センサーの前に障害物はありませんか？	-	障害物を取り除く。
	センサー表面が汚れていませんか？	⑤	汚れを拭き取る。
	取付可能陶器以外を組み合わせませんか？ センサー表面に水滴が付着していませんか？	-	取付可能陶器を組み合わせてください。 水滴を拭き取る。
上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。			
吐水が乱れる	泡沫口が汚れていませんか？	④	ゴミ等を除去する。
吐水口からポタポタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	③	ストレーナの掃除を行う。また定流量弁を取り外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。
	泡沫口がしっかり締まっていますか？	④	泡沫口をしっかり締める。
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。		

